

Cisco CallManager で SQL クエリーを使用した コール詳細レコードの検索

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[SQL クエリ アナライザを開いて下さい](#)

[CDR データベースの日付表示形式](#)

[2つの日付/回以降にまたはの間でなされる呼び出しを搜して下さい](#)

[特定の数になされる呼び出しを搜して下さい](#)

[クエリの結果を保存して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

一定時間の経過後または特定の番号に発信されたコールを呼詳細レコード (CDR) 内で検索すると役立つことがあります。このドキュメントでは、一定の日時の経過後に特定の番号に発信されたコールを検索するためにクエリ アナライザを使用する場合の手順を示します。

前提条件

要件

このドキュメントを読む人はこれらのトピックの知識がある必要があります:

- Cisco CallManager 3.x および 4.x の管理
- SQL データベースの管理

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager 3.x
- Cisco CallManager 4.x

注: Cisco Unified CallManager 4.x (即ち Sql server 2000) の SQL データベースの異なるバージョンがあるが、この資料はまだ適用します。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。こ

のドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

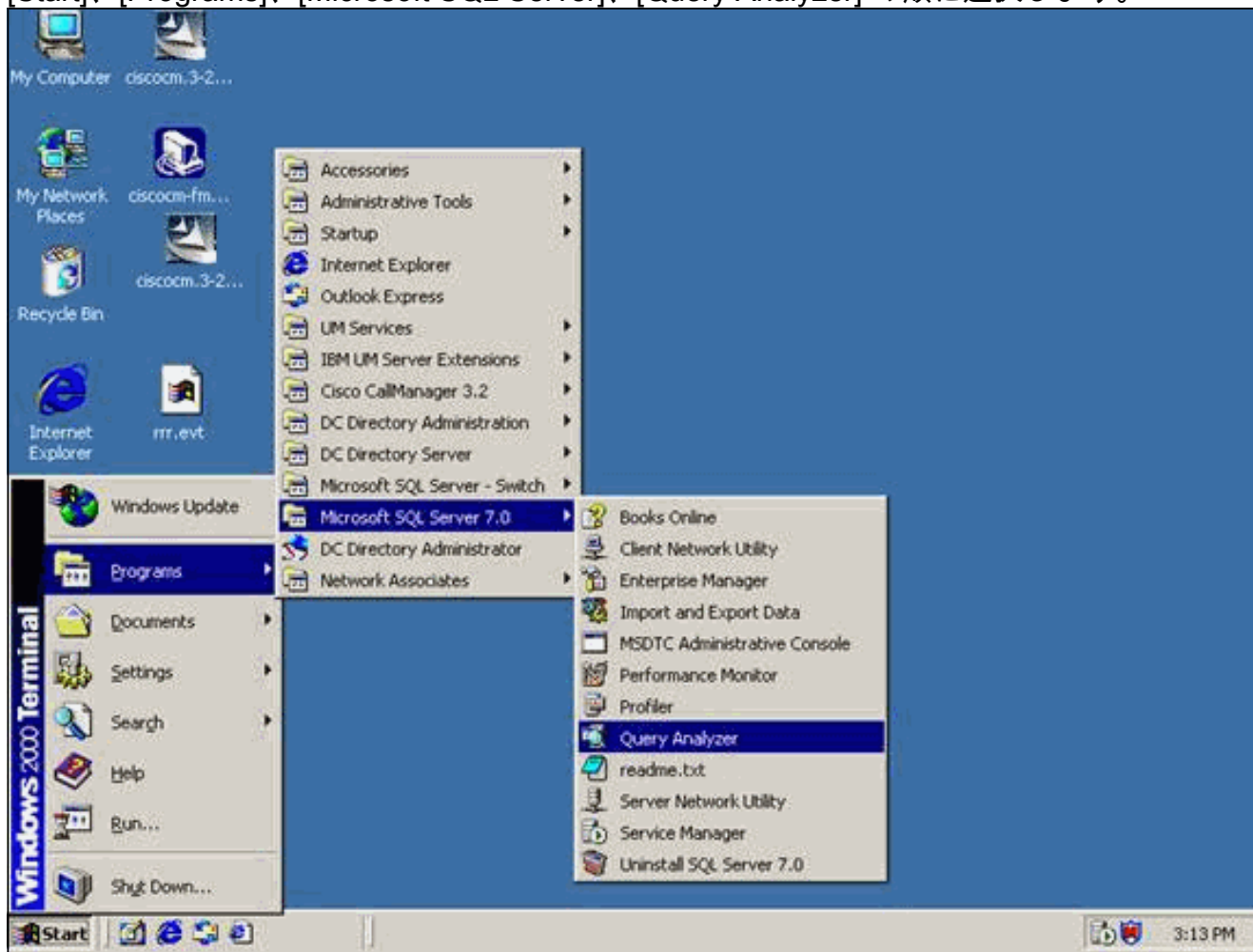
表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

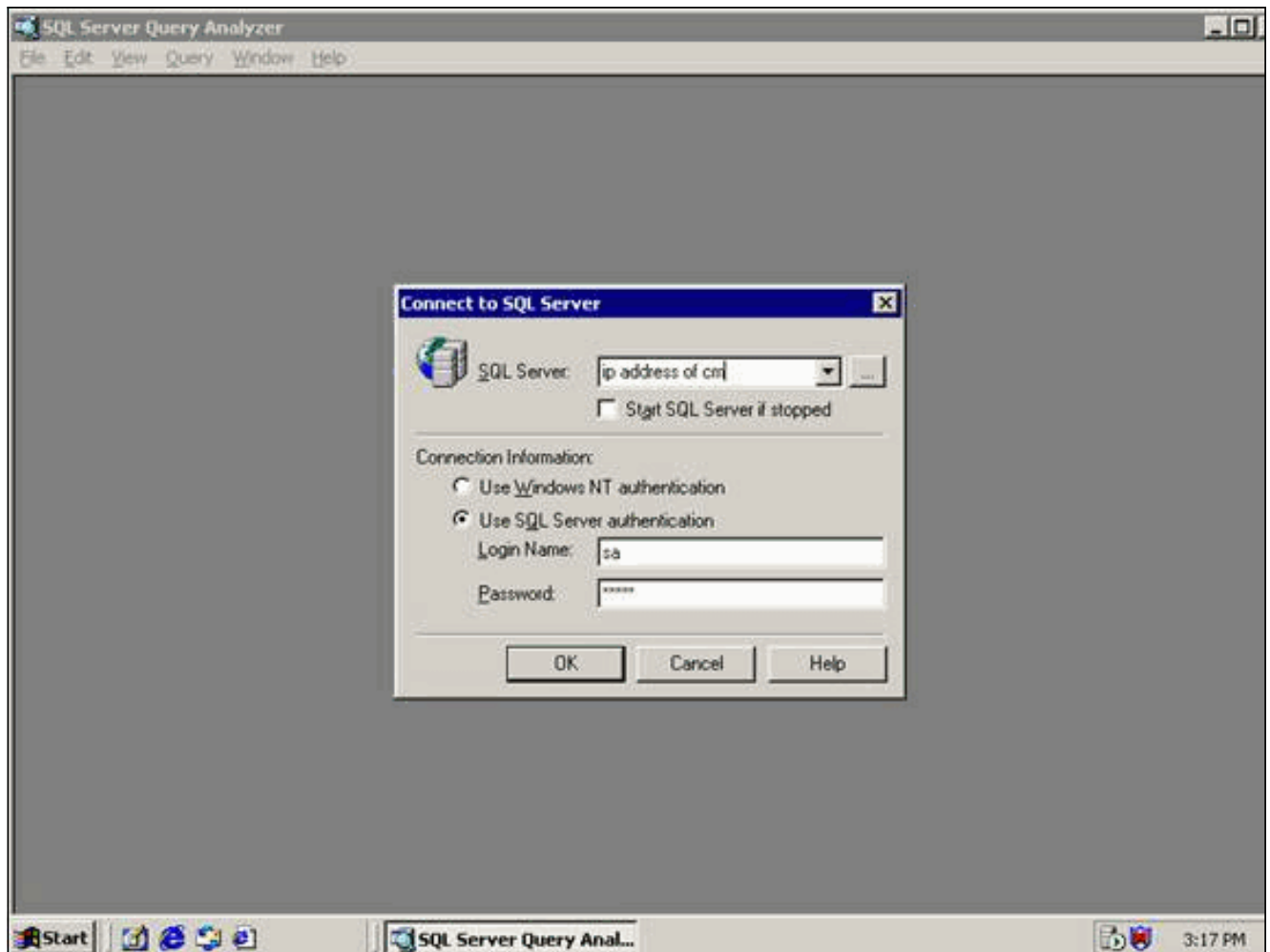
SQL クエリ アナライザを開いて下さい

この資料で与えられるクエリ アナライザを使用して例すべては動作します。クエリ アナライザを開くためにこれらのステップを完了して下さい。

1. [Start]、[Programs]、[Microsoft SQL Server]、[Query Analyzer] の順に選択します。

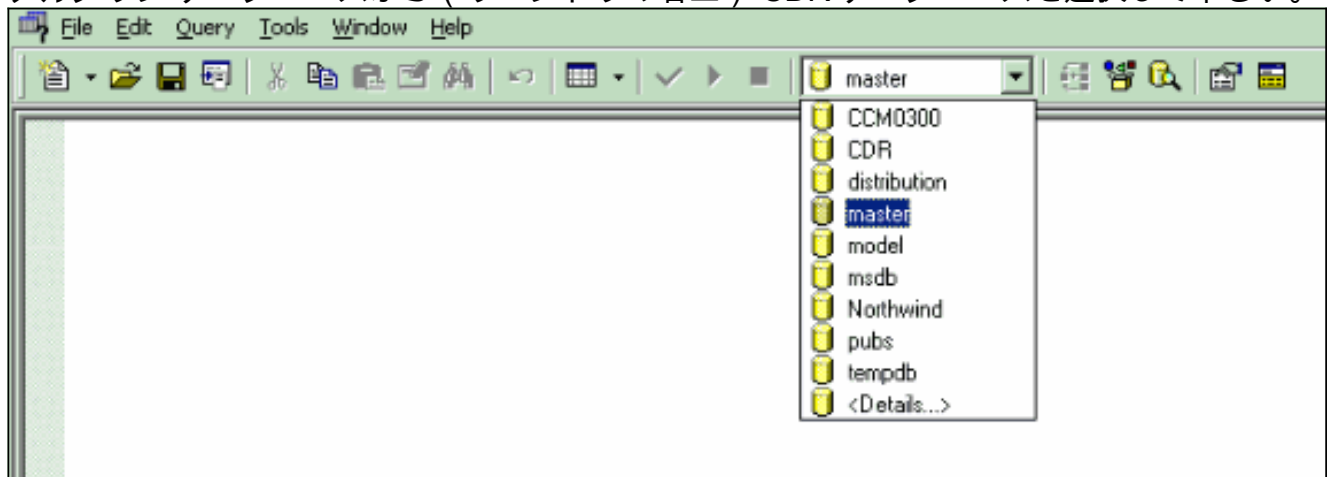


2. サーバ（ローカルサーバ）にログインして下さい。Cisco CallManager 3.x に関しては、『Use SQL Server Authentication』を選択し、ユーザ名およびパスワードを入力して下さい。Cisco Unified CallManager 4.0 およびそれ以降に関しては、**使用 Windows NT 認証**を選択して下さい。Windows NT 認証は、がシステム 支援 SQL 認証推奨されます。リリース 4.0 以降の混合モード認証用の Cisco CallManager の設定はサポートされません。アップグレードされた以前のバージョンは SQL サーバ 認証と失敗し、システムは Windows NT 認証に戻る必要があります。



注: サードパーティアプリケーションが Cisco CallManagerデータベースにアクセスする必要があるとき SQL 認証が必要となるかもしれませんがこれは Cisco によってサポートされません。

3. プルダウン データベースから (ウィンドウの右上) CDR データベースを選択して下さい。



4. パネルでクエリを入力して下さい。

CDR データベースの日付表示形式

すべての呼び出しをある特定の日付以降に選択するために、によって世界時と 1970 年 1 月 1 日以来の秒の値にほしい日付を変換する必要があります。

たとえば、973995954 は 11/12/00 2:25 AM に変換します。タイムスタンプを解読するためにこれらのステップを完了して下さい。

1. Microsoft Excel に行ってください。
2. セルでは A1 は dateOrigin のための最後のレコードにある数を入力します。
3. セル A2 では、数式 $=A1/86400+DATE(1970,1,1)$ を貼り付けて下さい。
4. セル A2 を右クリックし、『format cells』を選択して下さい。
5. Number タブの下で形式が 3/14/98 130 PM である時間を選択して下さい。結果は可読フォーマットの実時間です。

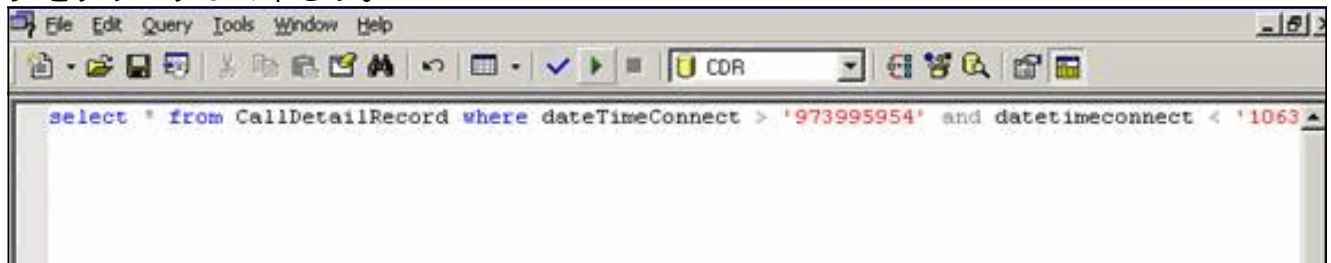
によって日付にほしい日を変換するためにこれらのステップを完了して下さい。

1. 形式 MM/DD/YYYY 00:00 AM のセル B2 で日付に入ってください。
2. セル A では数式 $=(B2-DATE(1970,1,1))*86400$ を入力して下さい。
3. セル B1 を右クリックし、『format cells』を選択して下さい。
4. Number タブの下で、『Number』を選択して下さい。この数は数式で使用する秒の世界時です。正しい時刻を取得するために、[CiscoCDRTime Converter-0.1.0.0.zip](#) をダウンロードして下さい。注意：このツールはシスコシステムズによって公式のサポートを提供されません。このツールをダウンロードするか、インストールするか、または使用すれば、そう自己の責任においてします。シスコシステムズは、株式会社このサポートされていないツールの使用の結果として起こるかもしれない問題を訂正する役割がありません。

2つの日付/回以降にまたはの間でなされる呼び出しを捜して下さい

すべての呼び出しをある特定の日付以降に選択するために、世界時と 1970 年 1 月 1 日以来の秒の値に希望する日付を変換する必要があります。知識をこの資料の [CDR データベース セクションの日付表示形式](#) 参照して下さい。

1. 行き、数式を『*』を選択する dateOrigin > 日付以降になされるすべての呼び出しのための '973995954' が CallDetailRecord から SQL クエリ アナライザのウィンドウに入力する。
2. 2 回の間で起こる呼び出しをまったく検知したいと思えば数式を『*』を選択する、CallDetailRecord から dateOrigin > '973995954' および datetimeconnect < '1063574868' 入力下さい。
3. スクリプトを実行するために、チェックマークをページの上でクリックし、次に play ボタンをクリックして下さい。



特定の数になされる呼び出しを捜して下さい

状況によっては、特定の日付の 911 を呼出した拡張を調べる必要があるかもしれません。911 のような特定の数になされる呼び出しを捜すためにこれらのステップを完了して下さい。

1. 特定の数になされる呼び出しを捜すために、異なるクエリを実行できます。たとえば、911 に呼び出しを探したいと思う CallDetailRecord から『*』を選択します

finalcalledpartynumber='911 クエリを入力することができます。

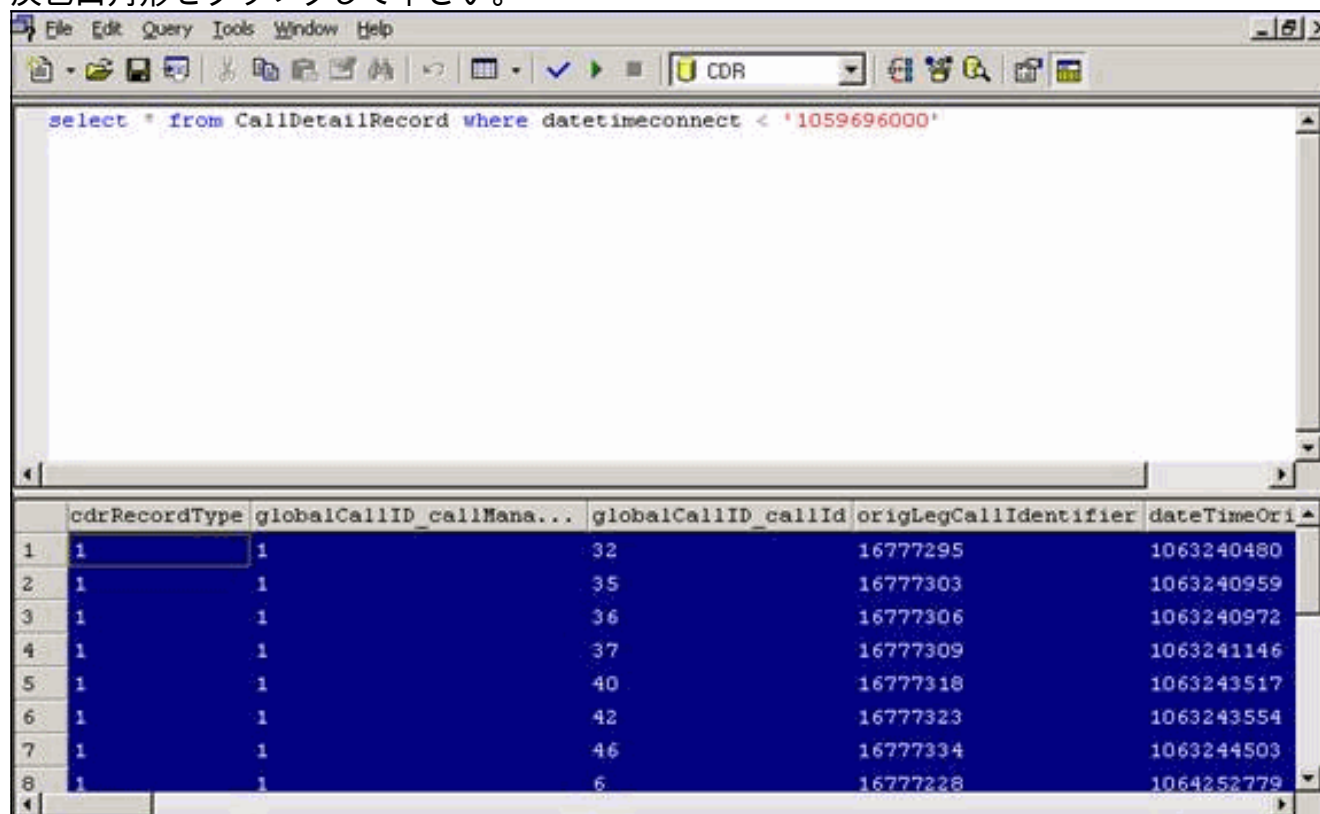
2. ページ表示の下部の 911 と等しい最終的な着番号がある CDR のすべてのエントリ。
3. それを精製するためにこのクエリに日付を追加して下さい。たとえば、August 第 1 の後の 911 へのすべての呼び出しのために、2003 年が CallDetailRecord から、クエリを『*』を選択する finalcalledpartynumber='911 および datetimeconnect > '1059696000' 実行する。
4. ページ表示の下部の 911 と等しい最終的な着番号がある CDR のすべてのエントリを第 1 の後で August 作成した、2003 年。'1059696000' は第 1 のための秒の August 世界時、2003 年です。
5. 見るためにだれが 911 を呼出す、CallDetailRecord からクエリ選定された callingpartynumber を finalcalledpartynumber='911 実行して下さい。
6. CSV の結果を保存するために[保存を](#)この資料の[クエリ](#) セクションの[結果](#)フォーマットして下さい、参照して下さい。

注: 変換パターンである数になされる呼び出しの数を見つけるを試みる場合、はたらかません。CDR は変換パターンを記録しません;それは DN およびルートパターンだけを監察します。

クエリの結果を保存して下さい

クエリを実行したら、Excel で開くことができる .CSV ファイルに持っているデータを保存したいと思う場合このプロシージャに示すように結果を強調表示して下さい。

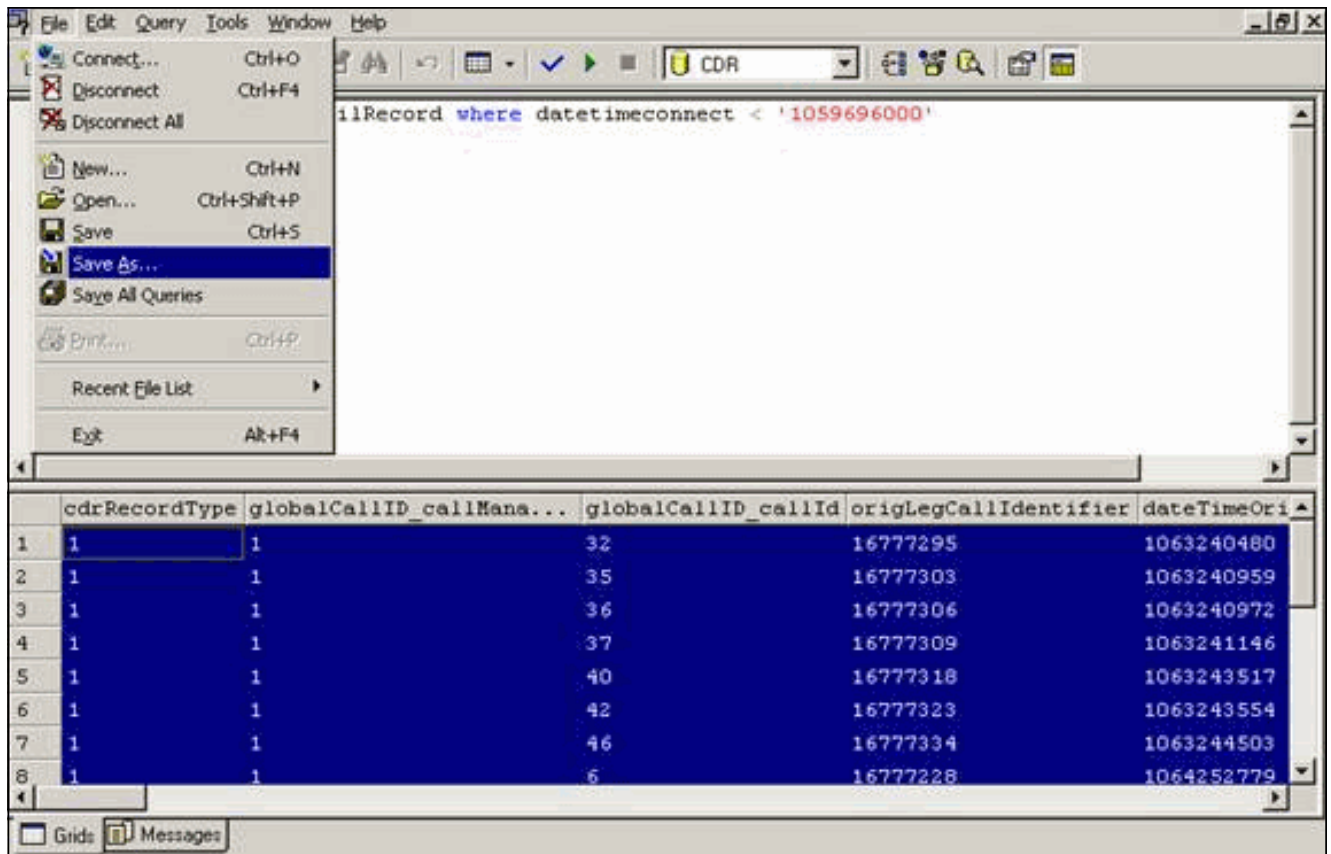
1. 最初のカラムをクリックし、最後のカラムにマウスを引張して下さい、または、第 1.の上の灰色四角形をクリックして下さい。



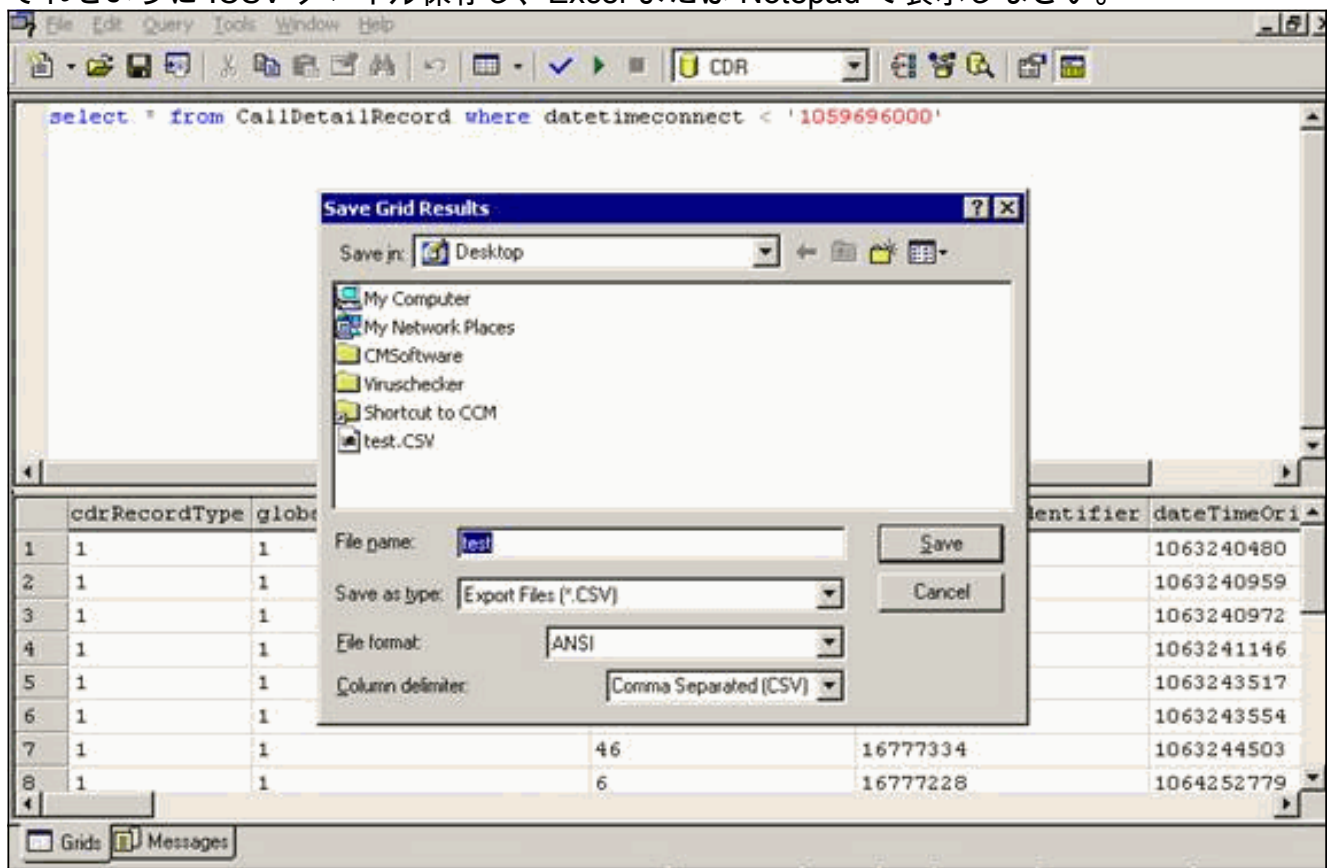
The screenshot shows a query tool window with a menu bar (File, Edit, Query, Tools, Window, Help) and a toolbar. The query text is: `select * from CallDetailRecord where datetimeconnect < '1059696000'`. Below the query, a table of results is displayed with columns: cdrRecordType, globalCallID, callMana..., globalCallID, callId, origLegCallIdentifier, and dateTimeOri. The first column is highlighted with a blue background.

	cdrRecordType	globalCallID	callMana...	globalCallID	callId	origLegCallIdentifier	dateTimeOri
1	1	1		32		16777295	1063240480
2	1	1		35		16777303	1063240959
3	1	1		36		16777306	1063240972
4	1	1		37		16777309	1063241146
5	1	1		40		16777318	1063243517
6	1	1		42		16777323	1063243554
7	1	1		46		16777334	1063244503
8	1	1		6		16777228	1064252779

2. ように File > Save の順に選択して下さい。



3. それをよように .CSV ファイル保存し、Excel または Notepad で表示しなさい。



関連情報

- [CDR のトラブルシューティング](#)
- [CDR の概要 \(Call Detail Records \)](#)
- [Cisco CallManager : ロケーションに関連付けられたデバイス検索のために SQL Query](#)

Analyzer を使用する方

- Cisco CallManager 3.x から 4.x へアップグレードした後で SQL クエリ アナライザにログインすることが不可能なユーザ
- 音声に関する技術サポート
- 音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート
- Cisco IP Telephony のトラブルシューティング
- テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems